

奥多摩 後山川 片倉谷 沢登り

【山域】奥多摩 【ルート】後山川 片倉谷

【登山方法】沢登り 【メンバー】CL 柘植(記録)、石橋、井上志

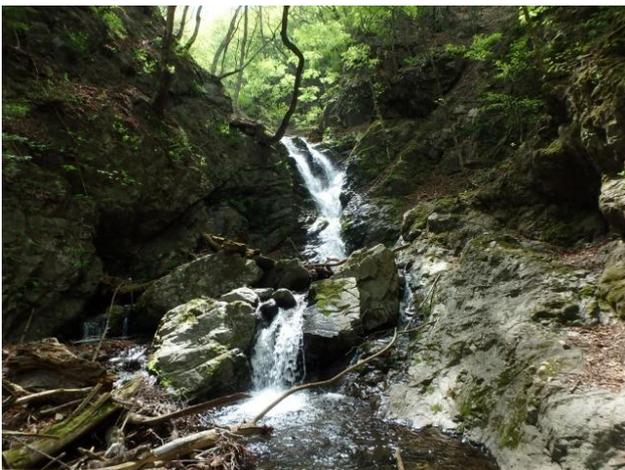
【行程】2014年4月29日(水) 【天候】晴れ

【記録】片倉谷出合 8:40→(片倉谷遡行) 13:20 堂所 13:50→(登り尾根経由) 15:30 片倉谷出合

片倉谷は三条の湯に続く後山林道を進むとゲートのところで流入する最初の大きな支流。昨年は6月第一週に計画したが、水量が多くて遡行できる雰囲気ではないので、ハイキングと山菜採りに変更して宿題となってしまったところ。

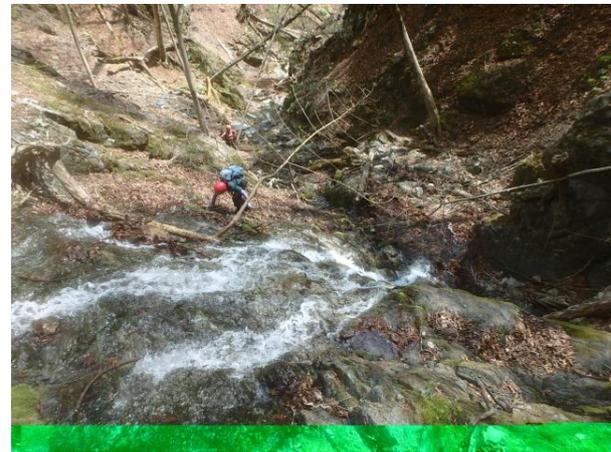


ガイドでは出合からはしばらく仕事道を使い途中から入渓するようなことが書いてあったが、どこに仕事道があるのか分からず、出合からすぐ入渓する。最初のうちは結構微妙なところが続き、巻いているのはそういう理由もあるからかもしれない。途中で倒木が激しくなってくるころ、右岸に仕事道を見つけ、石橋さんと井上さんは仕事道で距離をかせぐ。やがてF1大滝が見えてくる。



ここは水量が少なければ直登、多ければ左岸を小さくトラバース、ともに無理なら左岸を大高巻きとなっている。水量は決して少なくないので左岸ルートを行ってみるが、かなり危険なルートなので一旦下降して直登で行く。頭から水を被り半分手探り状態でなんとか滝頭にたどり着くが、石橋さんと井上さんには大高巻ルートで行ってもらおう。そこから上は穏やかな溪相になるが、倒木も一緒に激しくなり、かなり時間と体力を使う。途中で石橋さんが鹿の角つき頭骸骨を発見する。これは魔除けの効能があるのかなので、記念写真を1枚パチリ。やや中弛みのあと上部に至って再び滝群になる。やさし過ぎず、

難しすぎずでシーズン初めらしい沢登りを楽しめた。片倉谷は通常最後まで詰めず、適当なところで仕事道を見つけ左岸の登り尾根に出るので、我々も時間を見計らってしっかり護岸工事された仕事道から堂所というところに出た。



堂所から登山道は鴨沢を目指して登り尾根をトラバースぎみに下降していくが、我々は片倉谷出合に直接戻りたいので、稜線を忠実にたどる。途中には青や赤のテープも見られ、一部の人には使われているようだ。1214m標高点から少し降りると尾根が大きく扇状に広がるが、そこから右手の枝尾根に踏み込む。最後のほうはえらく急になり、また襞のような枝尾根がルートを分かりにくくしているが、GPSで進路を調整しながら進む。最後は採石跡のガケ上に出るが、右から回り込むように縁をたどり、駐車地点にピンポイントで着地できた。

片倉谷はもっとお手軽ルートかと思ったが、意外と長く、また手応えがあった。倒木・倒枝が多いのが惜まれるが、昨年春の大雪のせいと思う。昨年遡行した沢もこうなってしまった谷は多かった。そういう片倉谷であるが、さわやかな青空ともえぎ色の新緑に沢登りシーズン到来を感じた。

(柘植記)